

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居者が高齢化してきている状況で、急変や誤嚥時の対応に不安が大きい。介護の職について浅い職員もいる中、誰でもいつでも急変時の対応が実践できる体制を整える必要がある。	入居者の急変や誤嚥、怪我の応急手当や初期対応の実践力を身につけ、職員全員が適切な対応ができるようになる。	①誤嚥時、急変時の指示出しができるようになる ②必要物品の使い方を理解し、物の置き場所を覚える ③酸素、吸引器の使い方を覚える ④各入居者の病気を理解し、早期発見ができるようになる ①～④を定期的に勉強会を開催し、①～③はシュミレーションの回数を増やす	12か月
2	36	認知症状が進行している入居者が増えている。BPSDの症状が出る入居者もあり、対応に困っている。入居者が不穏になると、職員目線の声掛けが多くなってきているため、認知症の病気を改めて理解し、個々の病状に合わせた対応ができるようになる必要がある。	認知症の病気を正しく理解し、人格を尊重した声掛けや対応ができるようになる。	①認知症の周辺症状を理解する ②周辺症状に合わせた対応ができる ③職員が自分の声掛けや対応を振り返り、何が不足なのかを理解し、相手の立場になって対応できるようになる ①～③は毎月に会議内でミニ勉強会を実施する	12か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。